

# 環境経営の取り組み

## 環境に関する基本姿勢

豊かな地球環境を次世代に引き継ぐために、地球環境保全を企業経営における優先課題と位置づけています。

### ニッケグループ環境基本理念

“人と地球に「やさしく、あったかい」  
企業グループとして、  
わたしたちは情熱と誇りをもって  
チャレンジして行きます。”

ニッケグループは、この経営理念のもと、「環境への配慮と高い企業倫理により社会から信頼される企業グループを指向すること」を環境基本方針としています。とりわけ地球環境の保全を重要な課題と捉え、豊かで住みよい社会の実現に向けた企業活動に努めるため、3つの行動方針と4つの重点施策を定めています。そして、研究開発から製造、技術、販売、流通に至るあらゆる分野において、グループ全従業員が積極的に環境保全活動に取り組んでいきます。

### 行動方針

環境保全活動の推進	CO <sub>2</sub> 排出量削減、省資源、環境負荷の低減にグループ全従業員で取り組みます。
環境マネジメントシステムの確立	ISO14001の認証を製造事業所3カ所およびグループ会社7社が取得しています。この環境マネジメントシステムを活用することで、継続可能な環境改善に努めます。
環境規制の遵守	環境関連法規および環境保全協定などを遵守するとともに、排出基準に自主規制値を設定し、厳しい規制管理を図ります。

### 重点施策

- 環境配慮に対するグループ内の意識徹底
- CO<sub>2</sub>排出量削減、省エネルギー、省資源、廃棄物3Rの推進
- 環境問題に対応した素材と生産技術の開発
- 環境関連情報の公開および地域社会との共生

## 環境マネジメント

「ニッケグループ地球環境委員会」のもと、「PDCAサイクル」を重視した環境マネジメントシステムを継続的に運用していくことによって、環境保全活動を推進しています。

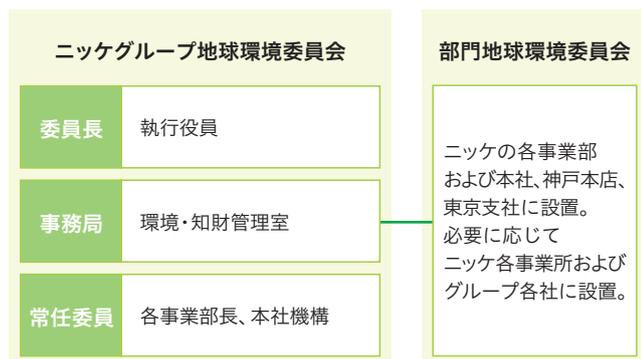
### 環境マネジメントシステム

ニッケグループでは、グループ各社が同じ目標のもとで、環境保全活動に取り組む体制を構築しています。「ニッケグループ地球環境委員会」を設けて基本方針と施策を決定するとともに、各事業部・本社・神戸本店・東京支社などに

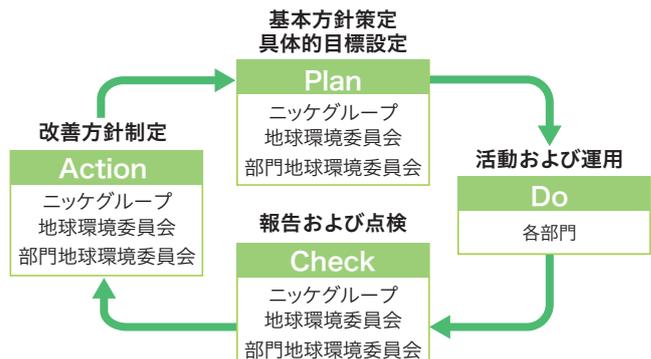
設置した部門地球環境委員会で具体的な計画を立案して実行する体制としています。

環境保全活動の推進にあたっては、下図のように“PDCAサイクル”を繰り返すことで活動の定着と強化を図っています。

### 環境マネジメント体制



### 環境保全活動推進フロー



## 環境経営の取り組み

### ISO14001 認証取得状況

ニッケグループでは、製造事業所3カ所およびグループ会社7社で、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001 認証を取得しています。

2015年度にISO14001の認証を取得したグループ会社はありません。

ニッケグループ全社員に占める  
ISO14001認証取得事業所  
従業員の割合



認証取得従業員数:1,406名\*

グループ従業員数:5,496名\*

\*非連結グループ会社を含む。

### 環境会計

環境会計を導入し、環境保全の取り組みの把握に努めています。

環境対策投資は公害防止設備や省エネ・廃棄物減量設備への投資を集計したもので、下記データの通り年度により変動はしますが、中長期計画に掲げて継続的に取り組んでいます。

公害防止コストは年間管理計画の中で規定された大気・排水分析や機能維持のための保全費用を集計したものです。

#### 環境会計データ

(千円)

	2011	2012	2013	2014	2015
環境対策投資額	135,959	123,496	3,471,461*	2,096,190*	217,591
公害防止コスト	176,130	187,839	183,317	176,253	194,783
汚染負荷量賦課金	3,049	2,978	2,909	2,832	2,457

\* 2013年、2014年、ニッケまちなか発電所への投資額を含む。

### 環境教育

全社員を対象として毎年、環境教育を実施し、廃棄物の区分リサイクル方法を説明して分別回収の重要性に対する認識を深めています。

2015年度には、大阪市環境局から「ごみ減量」に貢献した企業としてニッケ大阪ビルと(株)ゴーセンが表彰されました。

今後も分別回収の意義・効果を理解し、地球環境保護・改善につながるよう努めていきます。



「ごみ減量」への  
貢献で表彰

### ISO14001認証取得事業所一覧(2015年11月末時点)

事業所	登録年月	登録番号
印南工場	2000年11月	JMAQA-E156
アカツキ商事株式会社	2001年9月	JSAE419
岐阜工場	2001年10月	JMAQA-E234
アンビック株式会社	2001年11月	JQA-EM1898
佐藤産業株式会社	2001年11月	JEO129E
株式会社ナカヒロ	2002年6月	E465
上海高織制紐有限公司	2004年3月	01 104 031654
株式会社ニッケ機械製作所	2004年11月	3030786
株式会社ゴーセン	2005年4月	JQA-EM4701
一宮事業所	2007年12月	JMAQA-E724

### 環境監査と結果

ISO14001 認証取得事業所では、年1回外部監査機関による審査を受けています。2015年度はニッケ3事業所合計で不適合0件、観察事項8件の指摘がありましたが、全体的には良好との評価を受けています。またニッケの3事業所で合計59名の内部監査員がおり、年1回、定期的に内部監査を実施しています。2015年度は不適合0件、観察事項15件が報告されました。

これら監査の結果については、マネジメントレビューで対策内容を確認・決定して、マニュアルや規定書を改訂する場合もあります。

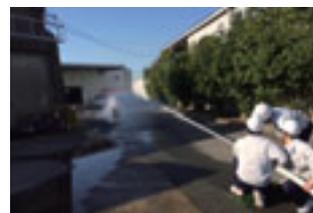
### 環境リスク管理

ニッケでは、環境マネジメントシステムに基づき、環境に関する緊急事態として、汚水の流出、薬品・油剤の流出、PCBの流出、毒劇物の盗難、火災の発生、都市ガスの漏れなどを想定しており、事業所ごとにリスクを規定しています。

緊急時の対応手順は作業標準などに規定し、社員に徹底するとともに、定期的な訓練を実施しています。



岐阜工場 PCB流出時の対応訓練



印南工場 消火放水訓練

## 環境経営の取り組み

### 環境影響の監視・測定

ニッケグループでは、ボイラや排水処理設備など環境に影響を及ぼす設備について、環境測定機器の定期校正、ボイラ排ガスの測定、排水の分析などの日常点検および定期点検を実施しています。また、製造事業所3カ所と(株)ゴーセン天神工場では、所在する地域の排水水質規制を上まわる自主規制値を設定し、厳しく管理しています。

各事業所では、敷地の境界で騒音などを定期的に測定し、新設備導入時など騒音が心配される場合は防音壁の設置や消音材の張り付けを実施し、周辺的生活環境の保全に努めています。

### 法令遵守状況

2015年度においても、環境に関して官公庁から指導および罰則を受けておりません。なお、過去3年間も同様に重大な違反・罰則・訴訟はありません。

### 環境コミュニケーション

兵庫県加古川市のグループ企業と地域の皆様との相互理解を深めるために、年2回、周辺の町内会の代表と地域連絡会を開催しています。連絡会では地域の情報交換や各グループ企業の状況報告をするとともに、地域に根ざした企業グループとして地域をサポートできるような体制の構築に取り組んでいます。

また、印南工場と兵庫県、加古川市の間で環境保全協定を締結しています。加古川市内の8社の企業も同様に協定を締結しており、年1回、企業の事業所周辺住民の代表の方などを交えて協議会を開催し、事業所ごとに環境情報を報告しています。

### 生物多様性の保全

大阪府高槻市鶴殿は、淀川水系で最大のヨシ原です。鶴殿のヨシは国内で唯一、雅楽の主旋律を奏でるひちりまに欠かせないろげつ蘆舌というリードに用いられ、日本古来の伝統芸能を支えてきました。それだけでなく、ヨシそのものが河川の水質浄化に役立っています。ニッケグループでは、地球環境保全に寄与したいという考えから、鶴殿のヨシ原の保全活動に協力しています。



鶴殿のヨシ原

### 環境に配慮した不動産開発

「ニッケテニスドーム岐阜」と「ニッケテニスドーム一宮」のコート照明をLED機器に更新しました。この結果エネルギー使用効率が上昇し、コート照明に係る1年間の使用電力量は186,480kWhから64,895kWhに、CO<sub>2</sub>排出量も94.9tから33.0tへと約1/3に大きく削減しています。

更新にあたっては、「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」(経済産業省資源エネルギー庁所管)を申請し、「ニッケテニスドーム岐阜」については補助金の交付を受けることができました。



ニッケテニスドーム一宮

### 環境保全活動のあゆみ

1993	●「地球環境委員会」を設置
1997	●ビジネスユニフォームでの「エコマーク」第1号取得 ●PETボトルリサイクル繊維を使用した「エコロジア企画」商品を販売開始
1998	●ウールリサイクルシステム「エコネットワーク」を構築
1999	●「環境自主行動計画」を策定 ●「地球環境保全中期計画」を策定開始
2000	●印南工場でISO14001を認証取得
2001	●岐阜工場でISO14001を認証取得 ●アンビック(株)でISO14001を認証取得 ●アカツキ商事(株)でISO14001を認証取得 ●佐藤産業(株)でISO14001を認証取得
2002	●(株)ナカヒロでISO14001を認証取得 ●印南工場にてNEDOとの共同研究で太陽光発電システムの実証実験を実施
2004	●(株)ニッケ機械製作所でISO14001認証取得 ●上海高織制紐有限公司でISO14001を認証取得
2005	●環境報告書発行開始 ●(株)ゴーセンでISO14001を認証取得
2007	●一宮事業所でISO14001を認証取得
2012	●太陽光発電システムの1号拠点を稼働(ニッケパークタウン) ●「環境データ集」として、冊子を廃止しウェブサイトのみに変更
2013	●鶴殿ヨシ原の保全活動のサポートを開始 ●ニッケまちなか発電所明石土山にて売電事業を開始
2014	●広域認定制度の認定取得 ●着用済みユニフォームのリサイクルシステム「エコシップ」の設立
2015	●(株)アンビックで排水リサイクル設備の導入 ●印南工場でガスコージェネレーションシステムの導入